

2章 登別市の景観特性

1. 自然景観の特性

①まちを囲む山々と丘陵地など(山辺)

- ・登別市においては、ほぼ全ての市街地からまちを囲む山々を眺望することができる。
- ・カムイヌプリ（750m）、鷲別岳（911m）来馬岳（1,040m）などは市内の小学校の校歌にも歌われ各地域のシンボルとなっている。
- ・山地から続く丘陵地のみどりは、身近なみどりの空間として、また、市街地のまとまりを示す境界として重要な景観要素となっている。

【市民会議の意見から】

- ・夕焼けの来馬岳、カムイヌプリが最高
- ・自然が豊かで、身近な丘陵地の景観が素晴らしい
- ・ボンズ山からの眺望が素晴らしい



■道道弁慶幌別線から望むカムイヌプリ
(富士町)

②まちを流れる多くの川(川辺)

- ・登別市には、鷺別川、胆振幌別川、登別川などの数多くの川が流れている。
- ・これらの川の多くは市街地を流れており、身近な自然景観として、市民に親しまれている。

【市民会議の意見から】

- ・まちなかの川は水とふれあえる大切な空間である
- ・河川のコンクリート護岸などは景観を阻害している
- ・鷺別川沿いは花が不足している



■胆振幌別川：白鳥テラス（新川町）

③意識されにくい海岸線(海辺)

- ・市の南東部は太平洋に面しており、直線的に続く砂浜や岬の岩礁が単調な海岸景観に変化を与えている。
- ・海岸と平行する国道 36 号沿いには建物が立ち並んでいることや海岸擁壁が高いなどのため海が意識されにくい。

【市民会議の意見から】

- ・海がそばにあるが身近に感じられない
- ・海辺にもベンチを置くことにより遊びのスポットになる



■国道 36 号バイパス沿いの砂浜海岸（幌別町）
：波返し護岸により、海が意識されにくい

④特異な自然景観

- ・登別温泉の周辺には、地獄谷や大湯沼、日和山、橘湖などのめずらしい自然が点在している。これらは、登別独特の景観を醸し出すとともに登別観光の魅力を支える重要な資源である。

【市民会議の意見から】

- ・橘湖は手つかずの自然が残っている
- ・倶多楽湖と大湯沼の魅力を高める必要がある



■地獄谷（登別温泉町）

⑤周辺市町村と一体的な自然景観

- ・登別市を取り巻く山並み、河川、湖などの雄大な自然環境は、登別市だけではなく、周辺市町村と一体となって、地域の景観を形づくっている。
- ・鷲別岳、鷲別川、倶多楽湖などは、隣接市町と共有する自然環境となっている。

【市民会議の意見から】

- ・市の境界ともなっている鷲別川は、互いの市が協力して、周辺景観をつくっていく必要がある
- ・倶多楽湖などの自然環境の保全是、登別市の観光にとって大切なものである



■倶多楽湖

2. 産業景観の特性

①登別市のイメージをつくる観光地の景観

- ・登別温泉やカルルス温泉など登別市は古くから温泉のまちとして広く内外に知られている。
- ・温泉街、マリニパークニクス、登別伊達時代村などの観光地景観は、登別市のイメージを代表するものとなっている。

【市民会議の意見から】

- ・登別温泉街の情緒がよい
- ・登別温泉は知名度が高いので、イメージを損なわない事が大切である
- ・周辺の自然景観にマッチした街並みとした方がよい
- ・温泉街は夜の景観についても配慮することが必要



■夜の登別温泉街

②伸びやかな印象の牧草地の景観

- ・札内・来馬地区の広大な牧草地は、緩やかな起伏をもって広がり、伸びやかな印象を与える空間となっている。この牧草地は、谷筋に残る自然植生や帯状に配置された保安林などに囲まれており、自然豊かな印象をもつ空間となっている。

【市民会議の意見から】

- ・牧場の牛と馬の風景がよい
- ・札内台地に広がる牧草地や星空がきれい

■牧草地と厩舎（来馬町）



③漁港の景観

- ・登別市には、鷺別漁港、富浦漁港、登別漁港の3つの漁港がある。これらの漁港は、それぞれ鷺別岬、蘭法華岬、フンベ山と接した位置にあり、自然を背景にして、漁船が停泊している風景は、登別市の代表的な産業景観のひとつである。また、漁火は市民にも親しまれている景観でもある。

【市民会議の意見から】

- ・フンベ山を背景とした漁港の眺めが良い
- ・漁火の景観がとてもきれい



■登別漁港（登別港町）

3. 市街地景観の特性

①地域ごとに特徴が見られる住宅地の景観

- ・庭木などのみどりが豊かな登別地区、市街地の奥行きがありカムイヌプリなどがシンボルとして確認しやすい幌別地区、傾斜地に家並みが広がる美園・若草地区など、地域ごとに特徴のある住宅地景観がみられる。
- ・JR 駅周辺など比較的古くからの密集した住宅地と、富岸・若山地区などに計画的に整備されたゆとりのある新興住宅地なども異なった景観を見せている。

【市民会議の意見から】

- ・登別地区は個人の家のみどりが多い
- ・富岸地区は新しい住宅地が多くきれいで良い



■みどりが多い住宅地
(登別本町)



■新興住宅地
(桜木町)

②魅力が低下している商店街

- ・比較的古くから商業集積が図られている幌別地区、登別地区などの商店街は、商業地としての魅力や賑わいが低下している。

【市民会議の意見から】

- ・幌別駅前周辺の商店街に活気を取り戻すことが大切
- ・中心市街地には大規模店舗、施設等の集約が必要
- ・若者が気軽に集えるようなお洒落な雰囲気がない



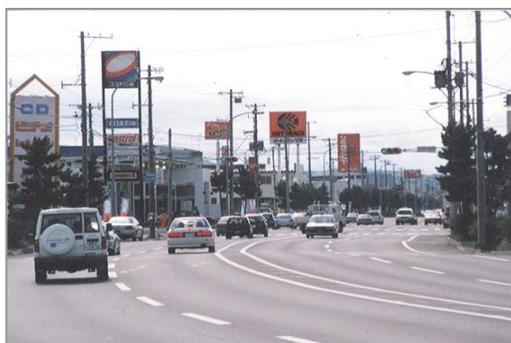
■賑わいがやや低下している商店街
(中央町)

③色彩豊かではあるが統一感のない沿道型サービス地区の景観

- ・美園地区から富岸・若山地区にかけての道道上登別室蘭線沿道などでは、モータリゼーション*の進展に伴い、近年郊外型店舗の進出が著しく、看板類、大規模な駐車場、派手なデザインの店舗の外観などが、沿道景観に賑やかな印象を与えている一方で、雑然とした印象も与えている。

【市民会議の意見から】

- ・まちの活気は感じるが、店舗・看板類など煩雑な印象を与えている
- ・看板類に統一感をもたせる



■沿道型サービス地区
(新生町の道道上登別室蘭線沿)

④まちを印象づける沿道景観

- ・市内を横断しているJR室蘭本線、道央自動車道、国道36号などは、まちの交通の主軸となっている。これらの交通網は、市民や来訪者の目に触れる機会が多く、その沿道・沿線や駅、ICなどはまちの顔として景観的にも重要な要素となっている。
- ・これら以外にも、サクラのトンネルとして親しまれている道道洞爺湖登別線、登別温泉から倶多楽湖を周回する自然豊かな道道倶多楽湖公園線など、特徴的な沿道景観により観光の魅力を高める道路も数多くある。

【市民会議の意見から】

- ・国道36号沿いの景観が悪い
- ・登別駅前広場の景観整備が必要
- ・富浦町の車のスクラップを隠す



■道央自動車道登別東インターに立つ鬼の像



■みどりが少なく単調な景観が続く国道36号(栄町)

⑤うるおいある景観をつくる公園

- ・市内における規模の大きな公園としては、亀田記念公園、岡志別運動公園などがあり、それぞれ市民のレクリエーションの場所として、みどりの拠点として親しまれている。
- ・これらの大きな公園や街区公園など市内には約40ヶ所の公園があり、市街地のうるおいある景観をつくる要素となっているものの、地域によっては公園が不足しているところもある。

【市民会議の意見から】

- ・鷺別地区・登別地区には公園が少ない
- ・キウシト湿原は登別市の原風景として貴重である
- ・登別自然緑地は身近な自然としてこのまま残すべき



■自然豊かな亀田記念公園
(富岸町)

⑥自然景観と調和している幌別ダムとダム湖

- ・幌別ダムは、川上公園の背後にみどりに覆われた堤体を見ることができ、ダム湖や川上自然公園は水とみどりに囲まれた地域住民のレクリエーションの場ともなっている。

【市民会議の意見から】

- ・望洋公園からダム湖の眺望を確保することが必要
- ・川上公園とダムの景観が良い



■幌別ダム (川上町)

⑦特徴的な景観を提供する橋梁

- ・市内の橋梁のうち、登別川に架かる新登別大橋は、渓谷美を眺めるスポットとなっているほか、橋梁自体も周辺の自然景観の中にその構造美を現すシンボリックな景観要素となっている。
- ・その他にも、道央自動車道の富浦川橋や幌別地区の鉄道を横断しているときめき橋など、景観的なポイントとなる橋梁が点在している。

【市民会議の意見から】

- ・新登別大橋からの眺めが良い
- ・新登別大橋の景観が良い



■周辺の自然景観に映える
新登別大橋—夏の風景

⑧数少ない歴史的景観

- ・登別温泉町の旧温泉科学館は、歴史的価値がある数少ない建築物の一つである。その他の歴史的資源としては、題目石など登別3大史跡や札内開拓記念樹などが残されている。
- ・鉾山地区には、昔の工場跡や坑道跡、鉄道跡などが残されている。

【市民会議の意見から】

- ・温泉の旧温泉科学館はユニークなデザインであり、歴史的価値がある
- ・鉾山町では、昔の精錬所跡などを保全すべき



■旧温泉科学館（登別温泉町）



■題目石（登別温泉町）